2022

いちご一会とちぎ国体
いちご一会とちぎ大会

第77回 国民体育大会　第22回 全国障害者スポーツ大会

夢を感動へ。感動を未来へ。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会

式典基本計画

式典基本計画　目　次

式典基本計画策定にあたって …… 1

1　いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の概要 …… 2
2　式典の概要
（1）式典テーマ …… 4
（2）式典の基本的な考え方 …… 4
3　総合開会式・開会式
（1）基本的な考え方 …… 5
（2）次第 …… 5
（3）オープニングプログラムの基本的な考え方 …… 6
（4）エンディングプログラムの基本的な考え方 …… 6
4　総合閉会式・閉会式
（1）基本的な考え方 …… 7
（2）次第 …… 7
（3）オープニングプログラムの基本的な考え方 …… 8
（4）ファイナルステージの基本的な考え方 …… 8
5　式典演技（式典前演技、歓迎演技）
（1）基本的な考え方 …… 9
（2）演技構成上の留意点 …… 9
6　式典音楽
（1）基本的な考え方 …… 10
（2）音楽隊編成の構想 …… 10
（3）使用曲の構想 …… 11
7　冬季大会競技会開始式
（1）基本的な考え方 …… 12
（2）次第 …… 12
8　各競技会の表彰式
（1）内容 …… 13
（2）実施上の留意点 …… 13
（3）その他 …… 13
9　炬火イベント
（1）基本的な考え方 …… 14
（2）炬火イベント基本方針 …… 14

式典基本計画策定にあたって

第77回の国民体育大会（以下「国体」という。）が、令和４（2022）年に本県で開催されることが正式に決定しました。本県での開催は、昭和55（1980）年の「栃の葉国体」以来42年ぶりとなります。また、第22回の全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）についても、同年に本県で開催されることとなりました。

本県は国体の愛称を「いちご一会とちぎ国体」、障スポの愛称を「いちご一会とちぎ大会」と定め、「夢を感動へ。感動を未来へ。」という「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」共通のスローガンのもと、「県民総参加で感動を創出する」「栃木の魅力を世界に発信する」「生涯にわたりスポーツ活動を推進する」「地域スポーツの活性化につなげる」の４つの項目を大きな柱とした、様々な取組を行い、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の成功を目指します。

なかでも、総合開・閉会式をはじめとする式典は、栃木の美しい自然や優れた歴史・文化を全国から訪れる人々に発信する絶好の場となります。そこで、全県民が総力を挙げて、来県者を温かく迎え、地域の特色を生かした心のこもったおもてなしをすることで、交流を深め、新たな夢や感動と喜びを共有する場とするとともに、本県の未来を創造する機会としていきたいと考えています。

この式典基本計画は、「式典基本方針」及び「式典基本構想」を踏まえた上で、式典の具体的な内容について基本的な考え方を明示し、今後の式典準備の円滑な推進を図るために策定するものです。

昭和55（1980）年「栃の葉国体」　（株）新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用

1　いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の概要

大会名

第77回 国民体育大会

第22回 全国障害者スポーツ大会

大会愛称

いちご一会とちぎ国体
いちご一会とちぎ大会

「いちご」の生産量が半世紀にわたって日本一の栃木県。「いちご王国」で行われる国体や障スポに参加するすべての人々が、県民の心のこもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで、新たな夢や感動が生まれることを目指します。

スローガン　**夢を感動へ。感動を未来へ。**

アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、国体や障スポに参加する、すべての人に感動を与えます。その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いがこめられています。

マスコット

↑国体とちまるくん

↓障スポとちまるくん

プロフィール

なまえ	「とちまるくん」
うまれたところ	栃木県庁前のトチノキ
たんじょうび	11月11日
せいかく	ちょっとやんちゃな頑張り屋さん
とくいなこと	とちまるくん体操、かけっこ
ゆめ	栃木県の「元気」と「ニコニコ」で全国のお友だちを笑顔にすること

開催時期

●第77回国民体育大会

冬 季 大 会：令和４（2022）年１月24日（月）～30日（日）【７日間】
本　大　会：令和４（2022）年10月１日（土）～11日（火）【11日間】
総合開会式：令和４（2022）年10月１日（土）
総合閉会式：令和４（2022）年10月11日（火）
総合開・閉会式会場：栃木県総合運動公園陸上競技場

●第22回全国障害者スポーツ大会

令和４（2022）年10月29日（土）～31日（月）【３日間】
開　会　式：令和４（2022）年10月29日（土）
閉　会　式：令和４（2022）年10月31日（月）
開 ・ 閉 会 式 会 場：栃木県総合運動公園陸上競技場

実施競技

●第77回国民体育大会

正式競技（37競技）　冬季大会の正式競技（２競技）
特別競技（１競技）
公開競技（５競技）
デモンストレーションスポーツ（31競技）

●第22回全国障害者スポーツ大会

正式競技（14競技）
オープン競技（２競技）

イメージソング

作品名：**「いちご一会」**

作詞・作曲／笠木　敦志
歌／サトウ ヒロコ（壬生町出身 シンガーソングライター）
ダンス：振付者／山田リズム体操クラブ代表 山田 喜美江（栃木県女子体育連盟）

2　式典の概要

式典は、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開・閉会式、冬季大会競技会開始式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成します。国体と障スポの連携を図り、「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」にふさわしい式典を目指します。

（1）式典テーマ　夢を感動へ。感動を未来へ。

（2）式典の基本的な考え方

①　県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典

・県民をはじめ、参加するすべての人々が協力し、全員で感動を共有できる式典を目指します。
・簡素化に努めながらも、工夫を凝らして創り上げることで、記憶に残る式典を目指します。

②　美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典

・栃木の美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化を取り入れることで、本県の魅力を全国に発信する式典を目指します。
・県民がふるさとの魅力を再認識するとともに、その魅力に誇りをもつことができる式典を目指します。

③　訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

・県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、栃木県民の温かさが伝わる式典を目指します。
・参加するすべての人々の絆を深め、来県者と栃木との本物の出会いを演出する式典を目指します。

3　総合開会式・開会式

（1）基本的な考え方（国体・障スポ共通）

① 選手一人ひとりが抱く、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」それぞれに懸ける思いや夢を表現し、これから始まる熱戦への期待感を高める内容とします。

② 栃木の自然や歴史・文化を生かした内容で、会場全体を盛り上げ、栃木の魅力を全国へ発信する内容とします。

③ 次の世代を担う子どもたちをはじめ、すべての県民にスポーツの素晴らしさを広め、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結びつくきっかけになる内容とします。

（2）次第

ア　いちご一会とちぎ国体 総合開会式

開場 → オープニングプログラム → 天皇・皇后両陛下御着席 → 式典前演技 → 天皇・皇后両陛下御退席 → 天皇・皇后両陛下御着席 → **式典** → 天皇・皇后両陛下御退席 → 役員・選手団退場 → エンディングプログラム → 終了

式典

開式通告 → 役員・選手団入場 → 開会宣言 → 国旗掲揚 → 実施競技団体旗掲揚 大会旗・日本スポーツ協会旗・ → 栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗掲揚 → 天皇杯・皇后杯返還 → 大会会長あいさつ → 文部科学大臣あいさつ → 天皇陛下お言葉 → 炬火入場・点火 → 選手代表宣誓 → 閉式通告

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。

イ　いちご一会とちぎ大会 開会式

（3）オープニングプログラムの基本的な考え方（国体・障スポ共通）

①　多彩な出演団体によって「栃木の魅力」を発信し、全国の人々が感動と喜びを共有できるような内容とします。

②　多くの県民が参加し、出演者や観覧者が楽しい時間を共有し、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」への期待感や応援ムードが高まるような内容とします。

③　「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開幕を飾るにふさわしい内容とします。

（4）エンディングプログラムの基本的な考え方（国体・障スポ共通）

①　観覧者に式典の余韻等を楽しんでいただくとともに、これから始まる競技会への期待が高まるよう、創意工夫を凝らした内容とします。

②　式典終了後、会場周辺の混雑緩和と、役員・選手団や観覧者等がスムーズに退場できるよう配慮します。

4　総合閉会式・閉会式

（1）基本的な考え方（国体・障スポ共通）

① 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に関わったすべての人への感謝を表現した内容にします。

② 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の中で生まれた一期一会の出会いを大切にし、絆をさらに深める式典にします。

③ 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」での多くの感動を振り返るとともに、その感動を第78回国民スポーツ大会や、第23回全国障害者スポーツ大会へつなげる式典にします（国民体育大会は国民スポーツ大会に名称変更されます）。

（2）次第

ア　いちご一会とちぎ国体 総合閉会式

開場 → オープニングプログラム → 皇族御着席 → **式典** → 皇族御退席 → 役員・選手団退場 → 終了

式典

- 開式通告
- 役員・選手団入場
- 成績発表
- 表彰状授与
- 天皇杯・皇后杯授与
- 大会会長あいさつ
- スポーツ庁長官あいさつ
- 栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗降納
- 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
- 国旗降納
- 炬火分火・納火
- 国体旗引継
- 佐賀県旗掲揚
- 閉会宣言
- 閉式通告

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。

イ　いちご一会とちぎ大会 閉会式

（3）オープニングプログラムの基本的な考え方（国体・障スポ共通）

① 多くの感動を与えてくれた選手の健闘を称え、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に関わったすべての方々への感謝の気持ちを表現した内容とします。

② 「栃木の魅力」を発信し、全国の人々が感動できる内容とします。

③ 「いちご一会とちぎ国体」の総合閉会式では、「いちご一会とちぎ大会」への期待が高まるような内容とします。

（4）ファイナルステージの基本的な考え方（障スポのみ）

① 「いちご一会とちぎ大会」のフィナーレを飾るにふさわしい内容とします。

② 「いちご一会とちぎ大会」を通じて生まれた一期一会の出会いを大切にし、絆がさらに深まり、達成感や喜びを感じられ、心に残るような内容とします。

5　式典演技（式典前演技・歓迎演技）

（1）基本的な考え方

①　参加するすべての人が感動し、これから始まる「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」への期待感を高める演技構成とします。

②　栃木県の自然や歴史・文化などを取り入れ、「栃木の魅力」を感じることのできる演技構成とします。

③　全国から来県した人々に「おもてなし」の気持ちが伝わり、参加するすべての人々が、「つながり」を感じることができる演技内容とします。

（2）演技構成上の留意点

①　「栃木の魅力」がわかりやすく伝わる構成とします。

②　「いちご一会とちぎ国体」と「いちご一会とちぎ大会」の連携を図り、演出を共有します。

昭和55（1980）年「栃の葉国体」　（株）新朝プレス発行「栃の葉賛歌」より引用

6　式典音楽

（1）基本的な考え方

①　すべての参加者の記憶に残り、全員で感動を共有することのできる式典音楽を目指します。

②　使用楽曲においては、栃木にゆかりのある楽曲を取り入れて構成することで、県民がふるさとの魅力を再認識する式典音楽を目指します。

③　心温まる式典音楽で迎え、来県者と栃木との本物の出会いを演出します。

④　「いちご一会とちぎ国体」と「いちご一会とちぎ大会」の連携を図り、式典音楽及び式典音楽隊を共有します。

（2）音楽隊編成の構想

①　音楽隊の編成人数

楽　隊　別	人　　数
吹 奏 楽 隊	１５０名程度
合　唱　隊	２００名程度
合　　計	３５０名程度

②　音楽隊の編成基準

（共通基準）

ア　式典音楽隊への参加意思をもつ団体とする。

イ　日常的な活動が活発で、一定の演奏水準が維持でき、指導者と練習会場を継続的に得ることのできる団体とする。

ウ　各種練習会、リハーサル、総合開会式・閉会式等への参加が可能であり、かつ地理的・時間的条件が整う団体とする。

エ　中学校・高等学校等の出演においては学校長の承認が得られ、引率等の人員の確保ができる団体とする。大学・職場一般においては所属長等の承認が得られる団体とする。

（部門別基準）

ア　吹奏楽隊

栃木県吹奏楽連盟の推薦を受けた団体を中心として編成する。

イ　合唱隊

栃木県合唱連盟の推薦を受けた団体を中心として編成する。

（3）使用曲の構想

【総合開会式・開会式】

場　　面	いちご一会とちぎ国体	いちご一会とちぎ大会
開式通告	ファンファーレⅠ	
役員・選手団入場	入退場行進曲	
開会宣言	ファンファーレⅡ	
国旗掲揚	「君が代」	
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚	「若い力」	－
大会旗掲揚	－	「空よ大地よ」
栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗掲揚	栃木県民の歌	
天皇杯・皇后杯返還	得賞歌	－
炬火入場・点火	炬火関連曲Ⅰ	
選手代表宣誓	ファンファーレⅢ	
閉式通告	ファンファーレⅣ	
役員・選手団退場	入退場行進曲	

【総合閉会式・閉会式】

場　　面	いちご一会とちぎ国体	いちご一会とちぎ大会
開式通告	ファンファーレⅠ	
役員・選手団入場	入退場行進曲	
表彰状授与 天皇杯・皇后杯授与	得賞歌	－
栃木県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗降納	栃木県民の歌	
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納	「若い力」	－
大会旗降納	－	「空よ大地よ」
国旗降納	「君が代」	
炬火分火・納火	炬火関連曲Ⅱ	
国体・大会旗引継	佐賀県が指定する曲	
次期開催県旗掲揚	佐賀県が指定する曲	－
閉会宣言	ファンファーレⅤ	
閉式通告	ファンファーレⅣ	
役員・選手団退場	入退場行進曲	

7　冬季大会競技会開始式

（1）基本的な考え方

総合開会式・開会式の基本的な考え方を踏襲し、秋に開催される本大会へと繋がる「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の幕開けにふさわしい内容にします。

（2）次第

いちご一会とちぎ国体冬季大会競技会開始式

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。

8　各競技会の表彰式

「いちご一会とちぎ国体」における各競技会の表彰式については、「国民体育大会開催基準要項」及び「同細則」に基づき、会場地市町村実行委員会等が関係競技団体と協議の上、次のとおり実施することができるものとします。

（1）内容

各競技会の表彰式は、概ね次のとおりとします。

①　開式通告
②　成績発表
③　表彰状授与
④　大会会長トロフィー授与
⑤　競技会会長閉会のあいさつ
⑥　会場地代表歓送のことば
⑦　国旗降納
⑧　大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納
⑨　競技会終了宣言
⑩　閉式通告

（2）実施上の留意点

①　表彰式の実施に当たっては、種目、種別ごとの表彰も含め、簡素化に努めるものとします。
②　表彰式の内容、所要時間は、選手のコンディションを配慮したものとします。
③　１競技が複数会場地市町村にわたる場合は、当該市町村実行委員会等と競技団体が十分協議の上、実施します。
④　大会会長トロフィーは、表彰式において授与するまでの間、表彰式を実施する会場地市町村実行委員会等が責任を持って保管します。
⑤　特別競技及びデモンストレーションスポーツの表彰式については、上記（１）に準じます。ただし、大会会長トロフィー授与は除きます。
⑥　公開競技は中央競技団体が表彰式の内容等を決定します。

（3）その他

この取扱いに定めるもののほか、表彰式の実施に必要な事項については、会場地市町村実行委員会等と競技団体及び関係機関で協議の上、別に定めることとします。

9 炬火イベント

「炬火」は、国体マークに象徴されるとおり国体のシンボルであり、国体の総合開会式で会場内の炬火台に点火されます。障スポにも引き継がれ、大会期間中、選手の活躍を見守り続けます。

開催年には炬火イベントも実施され、幅広い年代の県民が参加することで、国体及び障スポの開催に向けた機運醸成を図るとともに、地域の連帯感や郷土意識を深めるのに重要な役割を担っています。

（1）基本的な考え方

① 地域の歴史・伝統・文化を生かすことで、郷土意識を高める内容とします。

② 子どもからお年寄りまで、幅広い年代の県民が参加することで、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に向けた機運を高めます。

③ 県民や選手の心に刻まれる内容となるよう、工夫します。

（2）炬火イベント基本方針

① 炬火は、県内全市町で採火を行い、保管します。

② 採火した炬火は、各市町が実施する催しで活用することができます。

③ 炬火イベントは、多くの県民が参加できる内容とします。

④ 実施にあたっては、簡素・効率化を心がけながらも、地域の特色を生かしたイベントになるよう、工夫を凝らしたものとします。

⑤ 全市町で採火した炬火を一つに集火し、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の総合開会式・開会式において炬火台に点火します。

会　場　案　内

いちご一会とちぎ国体

- 正式競技／37競技
- 特別競技／１競技
- 公開競技／５競技
- デモンストレーションスポーツ／31競技
- 冬季大会正式競技／２競技

いちご一会とちぎ大会

- 正式競技／14競技
- オープン競技／２競技

身＝身体障害者が出場できる競技
知＝知的障害者が出場できる競技
精＝精神障害者が出場できる競技

いちご一会（いちえ）とちぎ国体
いちご一会（いちえ）とちぎ大会

イメージソング

「いちご一会」

笠木　敦志　作詞・作曲

一

夢を感動へ　感動を未来へ　心をひとつに
夢は分かち合える　トキメキを胸に　情熱を大地に
空を突き抜けて　風を追い越して
いちご一会　この瞬間　思いを馳せた
舞台が今ここに　花は可憐に
滝はまぶしく　君は輝け
※VERY　VERY　GOOD　BERRY　BERRY　とちぎ
（2回繰り返す）

二

夢を感動へ　感動を未来へ　どんな人だって
つまづく事もある　だけどくじけずに
そして繰り返し　一つずつ登る　想いを重ねて
いちご一会　この瞬間　真っ赤になった
情熱解き放て　緑あふれて
風はきらめき　君は輝け
※繰り返し
時は過ぎても　忘れはしない　この感動を
※繰り返し

栃木県総合運動公園陸上競技場
（新スタジアム）完成イメージ

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局
（栃木県国体・障害者スポーツ大会局内）

〒320-0851 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
HP https://www.tochigikokutai2022.jp/
TEL 028-623-3508 FAX 028-623-3527

2022とちぎ国体 検索